

# 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



作成年月日：2024年7月11日



学校法人

**静岡自動車学園**

# 目次

I 組織の概要	p.1
II 環境経営方針	p.2
III 実施体制	p.3
IV 環境経営目標及びその実績と評価	p.5
V 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画	p.13
VI 各部門独自の取り組み	p.15
VII 環境関連法規等の遵守状況	p.18
VIII 代表者による全体の評価と見直し	p.19

# I 組織の概要

## 1. 事業者名及び代表者名

学校法人静岡自動車学園

理事長 平井 一史

## 2. 所在地

名称	所在地		運用開始日
専門学校静岡工科自動車大学校	420-8507	静岡県静岡市葵区宮前町 52 番地の 1	2010年9月
専門学校浜松工科自動車大学校	430-0925	静岡県浜松市中央区寺島町 285 番地の 2 4	2023年4月
法人本部総務室	420-0822	静岡県静岡市葵区宮前町 71 番地の 1	2019年7月
教習事業部	420-0822	静岡県静岡市葵区宮前町 71 番地の 1	2019年7月
静岡県自動車学校静岡校	420-0822	静岡県静岡市葵区宮前町 71 番地の 1	2019年7月
静岡県自動車学校浜松校	432-8003	静岡県浜松市中央区和地山 2 丁目 38 番 1 号	2019年7月
静岡県自動車学校沼津校	410-0302	静岡県沼津市東椎路 419 番地の 1	2019年7月
静岡県自動車学校松崎校	410-3614	静岡県賀茂郡松崎町岩科南側 17 番地	2019年7月

## 3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 濱崎 貴史

事務担当者 小山 和美

電話 054-262-7555

E-mail kazumi@ksjg.com

## 4. 事業内容

専門学校（自動車整備士養成課程）

自動車運転教習所業

自動車整備業（認証：静第 24 号、指定：中指第 4836 号）

ドローン講習

## 5. 事業規模

静岡工科自動車大学校 在校生数 481人（2023.5.1 現在）

浜松工科自動車大学校 在校生数 64人（2023.5.1 現在）

自動車学校 4 校 入校生数合計 9,055人（2023 年度）

従業員数 364人（非常勤含む 2023.4.1 現在）

延床面積 20,857.85 m<sup>2</sup>

## 6. 事業年度

環境経営レポートの対象期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

環境経営レポートの発行日 2024 年 7 月 1 1 日

## Ⅱ 環境経営方針

### 【環境理念】

学校法人静岡自動車学園は「技術者（運転者）の育成をもって地域社会に貢献する」という建学理念のもと、これまでに培ってきた優れた教育サービスの提供を通じて環境に優しい交通社会の実現を目指します。

### 【環境方針】

#### 1. 環境に配慮した事業の推進

- (1) 教育活動を通じて環境問題を意識した行動のできる学生を育成します
- (2) 自動車運転教習を通じてエコ・ドライブを意識したドライバーを育成します



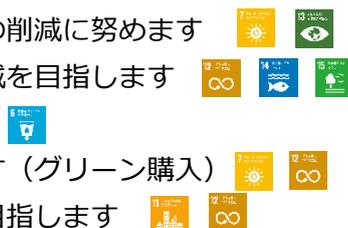
#### 2. 法規等の遵守

良好な環境を保全するため環境関連法規、条例を遵守します



#### 3. 環境目標の設定

- (1) 二酸化炭素排出量削減のためエネルギー使用量の削減に努めます
- (2) 資源の有効利用（リサイクル）により廃棄物削減を目指します
- (3) 水資源を有効利用するため節水に取り組みます
- (4) 環境に配慮した物品等の購入・使用を心掛けます（グリーン購入）
- (5) 生活環境の保全のため化学物質使用量の削減を目指します



#### 4. 環境活動の推進

- (1) 環境教育を通して本方針を周知するとともに社員の環境意識の向上を図り、SDGs に対する取り組みにも注力します
- (2) 環境経営の継続的改善を誓約し、環境活動計画に対しての取組結果も社内外に公表します

制定 2019年6月30日

改定 2023年6月27日

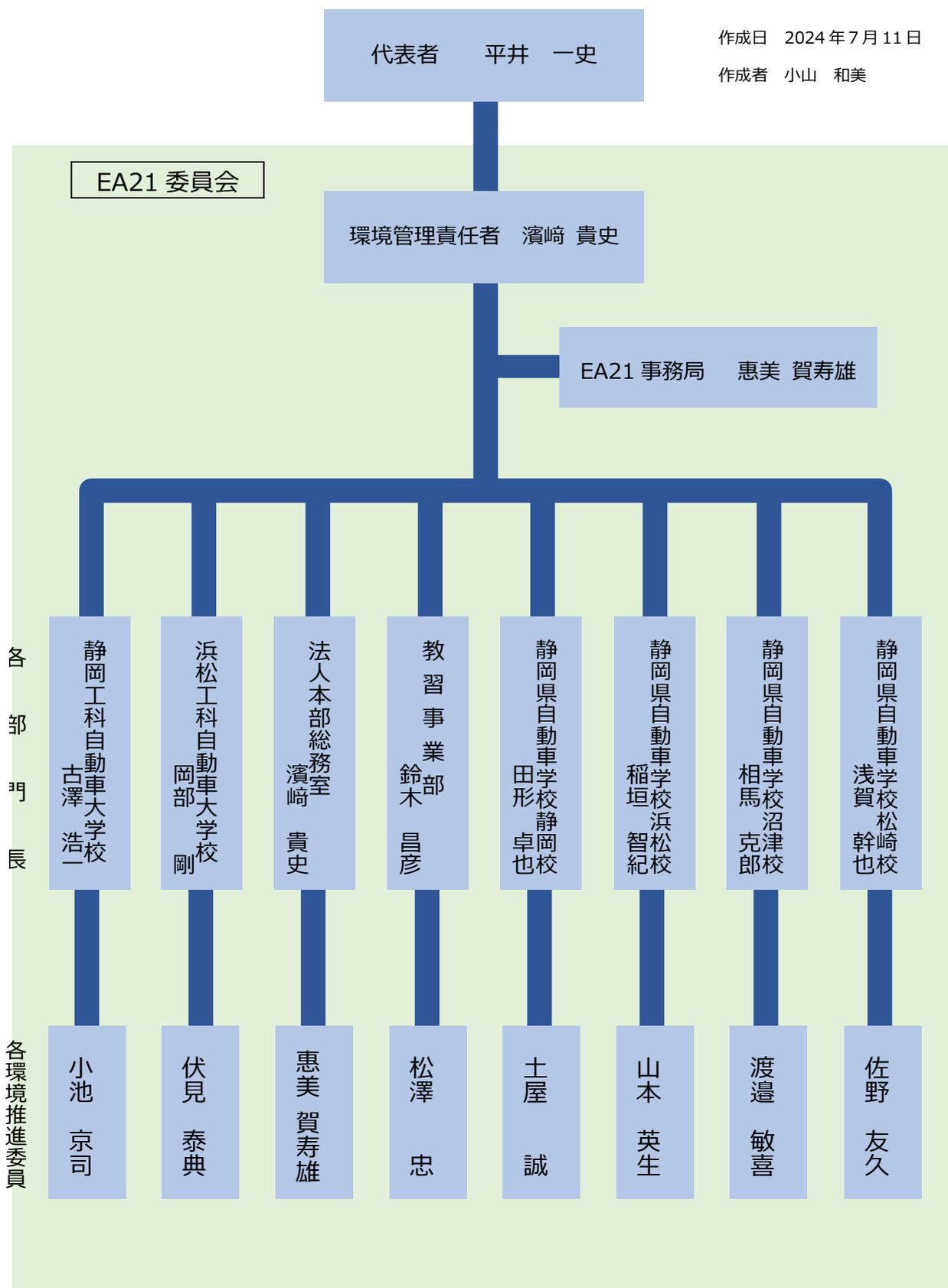


理事長 平井 一史

# III 実施体制

作成日 2024年7月11日

作成者 小山 和美



[関係者の権限と役割]

<p>代表者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境経営システム全般を総括し、その最終責任を負う</li> <li>②環境経営に必要な経営資源を準備する</li> <li>③環境管理責任者及び EA21 委員を任命する</li> <li>④環境方針を定め、環境目標、環境経営計画及び環境活動レポートを承認する</li> <li>⑤環境経営システムの評価と見直しを行い、課題がある場合には調査及び是正の指示をする</li> <li>⑥環境関連法規等で定めがある場合には、必要な者を任命する</li> <li>⑦経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>⑧緊急事態への準備及び対応(対応策の策定、試行及び訓練の実施)、責任の明確化</li> </ul>
<p>環境管理責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境経営システムを運用・管理する</li> <li>②各部門を総括する</li> <li>③環境経営システムの状況を代表者へ報告する</li> <li>④問題発生時は是正を指示する</li> <li>⑤環境経営レポートを作成する</li> </ul>
<p>EA21 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境経営システムの運営、管理、維持、改善を行う</li> <li>②環境負荷データ等の集計及び自己チェックを実施する</li> <li>③環境経営システムの見直し、是正を行う</li> <li>④関連部門に対する環境課題の提起、勧告、援助を行う</li> <li>⑤EA21 関連文書の作成・保管・伝達の業務を行う</li> </ul>
<p>各部門長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①部門の環境経営に関する全責任と権限を持つ</li> <li>②部門の環境経営計画を実施する</li> <li>③部門の取組状況を事務局へ報告、提案する。</li> <li>④地域社会との環境に関する折衝及び苦情に関する対外折衝を行う</li> <li>⑤部門の従業員教育を行い環境意識の高い職員・生徒を育成する</li> </ul>
<p>各環境推進委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①部門の環境経営について運営、管理、維持、改善を行う。</li> <li>②部門の環境負荷データ等の集計、管理及び自己チェックを実施する</li> <li>③部門の課題把握及び是正対策を実施する</li> <li>④遵守しなければならない環境関連法規及びその他の環境関連要求事項を整理し、施設の新増設の届出・諸報告及び関連官庁との折衝を行う</li> </ul>
<p>その他の全教職員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の役割を守りエコアクション 21 活動を推進する</li> <li>②環境保全への意識を高める</li> <li>③地域社会との良好な関係を維持することを心掛ける</li> </ul>

## IV 環境経営目標及びその実績と評価

### 学校法人 静岡自動車学園（法人全体）

1. 運用期間 2023.4.1～2024.3.31 電力排出係数 中部電力：0.480 kg-CO<sup>2</sup>/kWh  
東京電力：0.474 kg-CO<sup>2</sup>/kWh

項目	単位	基準年度		運用期間				
		2018.4～ 2019.3		2023.4～2024.3				
		基準値	目標削減率	目標値	実績値	実績削減率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	1,595,509.40	-5%	1,515,734	1,434,951	-5%	○	
内訳	電力	kWh	1,214,108.00	-5%	1,153,403	1,107,433	-4%	○
	ガソリン	L	303,975.49	-5%	288,777	268,127	-7%	○
	軽油	L	92,039.78	-5%	87,438	70,414	-19%	○
	都市ガス	m <sup>3</sup>	32,787.00	-5%	31,148	46,674	50%	×
	LPG	kg	321.08	-5%	305	132	-57%	○
廃棄物	一般廃棄物	kg	15,702.34	-3%	15,231	16,107	6%	×
排出量	産業廃棄物	kg	9,883.02	-3%	9,587	9,286	-3%	○
水使用量	m <sup>3</sup>	7,282.00	-5%	6,918	6,751	-2%	○	
化学物質使用量	kg	124.40	適正管理・使用		—	—	—	

### 2. 中期の環境目標

項目	単位	基準年度		削減率等					
		2018.4～ 2019.3		2023年度		2024年度		2025年度	
		基準値	目標削減率	目標値	目標削減率	目標値	目標削減率	目標値	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	1,595,509.40	-5%	1,515,734	-6%	1,499,779	-7%	1,483,824	
内訳	電力	kWh	1,214,108.00	-5%	1,153,403	-6%	1,141,262	-7%	1,129,120
	ガソリン	L	303,975.49	-5%	288,777	-6%	285,737	-7%	282,697
	軽油	L	92,039.78	-5%	87,438	-6%	86,517	-7%	85,597
	都市ガス	m <sup>3</sup>	32,787.00	-5%	31,148	-6%	30,820	-7%	30,492
	LPG	kg	321.08	-5%	305	-6%	302	-7%	299
廃棄物	一般廃棄物	kg	15,702.34	-3%	15,231	-4%	15,074	-5%	14,917
排出量	産業廃棄物	kg	9,883.02	-3%	9,587	-4%	9,488	-5%	9,389
水使用量	m <sup>3</sup>	7,282.00	-5%	6,918	-6%	6,845	-7%	6,772	

#### <備考>

- 2023年度分に浜松工科は含めていません。
- 2023年度からは電力供給会社を変更したため、基準値もあわせて排出係数を見直しました。
- 化学物質使用量は少量であり毎年の使用量に変動が大きいため定性的な適正管理を目標とします。

### 3. 評価

- ・都市ガス：記録的な猛暑や合宿生の増加のため、換気と空調機効率のためガスの使用量が増えてしまいました。
- ・一般廃棄物：2年分の廃棄物をまとめて処分したことで、数値が増加してしまいました。

4. 次年度の環境経営目標            変更なし

専門学校 静岡工科自動車大学校

1. 運用期間 2023.4.1~2024.3.31

電力排出係数 0.480 kg-CO<sup>2</sup>/kWh

項目	単位	基準年度		運用期間				
		2018.4~ 2019.3		2023.4~2024.3				
		基準値	目標削減率	目標値	実績値	実績削減率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	209,891.73	-5%	199,397	225,522	13%	×	
内訳	電力	kWh	229,165.00	-5%	217,707	215,205	-1%	○
	ガソリン	L	10,126.89	-5%	9,621	5,936	-38%	○
	軽油	L	2,033.22	-5%	1,932	2,999	55%	×
	都市ガス	m <sup>3</sup>	32,495.00	-5%	30,870	46,444	50%	×
	LPG	kg	321.08	-5%	305	132	-57%	○
廃棄物	一般廃棄物	kg	4,130.60	-5%	3,924	4,265	9%	×
排出量	産業廃棄物	kg	22,981.00	-5%	21,832	6,345	-71%	○
水使用量	m <sup>3</sup>	1,920.00	-5%	1,824	1,648	-10%	○	
化学物質使用量	kg	124.40	適正管理・使用		64	—	—	
				目標合格率	実績合格率	評価		
一級小型自動車整備士	自動車システム工学科			100%	97.6%	△		
二級ガソリン 自動車整備士	自動車システム工学科			100%	100%	○		
	自動車整備科			100%	100%	○		
	国際オートメカニック科			100%	100%	○		
二級ジーゼル 自動車整備士	自動車システム工学科			100%	100%	○		
	自動車整備科			100%	100%	○		
	国際オートメカニック科			100%	94.5%	△		
自動車車体整備士	2級ボディエンジニアコース			100%	100%	○		

2. 中期の環境目標

項目	単位	基準年度		削減率等					
		2018.4~ 2019.3		2023年度		2024年度		2025年度	
		基準値	目標削減率	目標値	目標削減率	目標値	目標削減率	目標値	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	209,891.73	-5%	199,397	-6%	197,298	-7%	195,199	
内訳	電力	kWh	229,165.00	-5%	217,707	-6%	215,415	-7%	213,123
	ガソリン	L	10,126.89	-5%	9,621	-6%	9,519	-7%	9,418
	軽油	L	2,033.22	-5%	1,932	-6%	1,911	-7%	1,891
	都市ガス	m <sup>3</sup>	32,495.00	-5%	30,870	-6%	30,545	-7%	30,220
	LPG	kg	321.08	-5%	305	-6%	302	-7%	299
廃棄物	一般廃棄物	kg	4,130.60	-5%	3,924	-6%	3,883	-7%	3,841
排出量	産業廃棄物	kg	22,981.00	-5%	21,832	-6%	21,602	-7%	21,372
水使用量	m <sup>3</sup>	1,920.000	-5%	1,824	-6%	1,805	-7%	1,786	
目標合格率				2023年度		2024年度		2025年度	
一級小型自動車整備士	自動車システム工学科			100%		100%		100%	
二級ガソリン 自動車整備士	自動車システム工学科			100%		100%		100%	
	自動車整備科			100%		100%		100%	
	国際オートメカニック科			100%		100%		100%	
二級ジーゼル 自動車整備士	自動車システム工学科			100%		100%		100%	
	自動車整備科			100%		100%		100%	
	国際オートメカニック科			100%		100%		100%	
自動車車体整備士	2級ボディエンジニアコース			100%		100%		100%	

<備考>

1. 2023年度からは電力供給会社を変更したため、基準値もあわせて排出係数を見直ししました。
2. 化学物質使用量は少量であり毎年の使用量に変動が大きいため定性的な適正管理を目標とします。

3. 評価

- ・二酸化炭素排出量：軽油・都市ガスの使用量増加に伴い、排出量が増えてしまいました。
- ・都市ガス：記録的な猛暑のため、使用量が増加してしまいました。

4. 次年度の環境経営目標                      変更なし

専門学校 浜松工科自動車大学校

1. 運用期間 2023.4.1~2024.3.31

電力排出係数 : 0.480 kg-CO<sup>2</sup>/kWh

項目	単位	運用期間	
		2023.4~2024.3	
		実績値	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	52,424.38	
内訳	電力	kWh	103,960.00
	ガソリン	L	776.86
	軽油	L	279.56
	都市ガス	m <sup>3</sup>	0.00
	LPG	kg	0.00
廃棄物	一般廃棄物	kg	880.05
排出量	産業廃棄物	kg	0.00
水使用量		m <sup>3</sup>	294.00
化学物質使用量		kg	適正管理・使用

<備考>

1. 浜松工科は2023年4月開校の新設校であり、2023年度~2026年度までの4年間は職員数・学生数が年々増加することが見込まれます。また、授業内容も使用する教材も年々変わっていき、現時点では正確な数値目標を設定することが難しい為、2026年度までは実績の把握のみとし、中期の環境目標も設定せず、2027年度から数値目標を設定します。

**総務室・事業部**

1. 運用期間 2023.4.1～2024.3.31 電力排出係数 中部電力:0.480 kg-CO<sup>2</sup>/kWh

項目	単位	基準年度		運用期間				
		2018.4～ 2019.3		2023.4～2024.3				
		基準値	目標削減率	目標値	実績値	実績削減率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	49,879.76	-5%	47,386	41,619.75	-12%	○	
内訳	電力	kWh	87,601.00	-5%	83,221	76,139.00	-9%	○
	ガソリン	L	3,375.55	-5%	3,207	2,186.65	-32%	○
	軽油	L	0.00	-5%	0	0.00	—	○
	都市ガス	m <sup>3</sup>	0.00	-5%	0	0.00	—	○
廃棄物	一般廃棄物	kg	956.26	-3%	928	1,239.00	34%	×
排出量	産業廃棄物	kg	132.92	-3%	129	373.00	189%	×
水使用量		m <sup>3</sup>	697.00	-5%	662	505.00	-24%	○
化学物質使用量		kg	現状把握	適正管理・使用		0.00	—	—
コピー機利用状況			前年平均4,028カウント		今年平均4,936カウント		×	

2. 中期の環境目標

項目	単位	基準年度		削減率等					
		2018.4～ 2019.3		2023年度		2024年度		2025年度	
		基準値	目標削減率	目標値	目標削減率	目標値	目標削減率	目標値	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	49,879.76	-5%	47,386	-6%	46,887	-7%	46,388	
内訳	電力	kWh	87,601.00	-5%	83,221	-6%	82,345	-7%	81,469
	ガソリン	L	3,375.55	-5%	3,207	-6%	3,173	-7%	3,139
	軽油	L	0.00	-5%	0	-6%	0	-7%	0
	都市ガス	m <sup>3</sup>	0.00	-5%	0	-6%	0	-7%	0
廃棄物	一般廃棄物	kg	956.26	-3%	928	-4%	918	-5%	908
排出量	産業廃棄物	kg	132.92	-3%	129	-4%	128	-5%	126
水使用量		m <sup>3</sup>	697.00	-5%	662	-6%	655	-7%	648
コピー機利用状況			前年度の平均値を下回ること						

<備考>

- 2023年度からは電力供給会社を変更したため、基準値もあわせて排出係数を見直しました。

3. 評価

- ・一般廃棄物：2年分の廃棄物をまとめて処分したことで、数値が増加してしまいました。
- ・産業廃棄物：2年分の廃棄物をまとめて処分したことで、数値が増加してしまいました。
- ・コピー機カウント数：職員の異動に伴い、印刷物が増加してしまいました。

4. 次年度の環境経営目標 変更なし

## 自動車学校 4 校（静岡校・浜松校・沼津校・松崎校）

1. 運用期間 2023.4.1～2024.3.31 電力排出係数 中部電力:0.480 kg-CO<sup>2</sup>/kWh  
東京電力:0.474 kg-CO<sup>2</sup>/kWh

項目	単位	基準年度		運用期間				評価
		2018.4～	2019.3	2023.4～2024.3				
		基準値		目標削減率	目標値	実績値	実績削減率	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	1,335,737.91	-5%	1,268,951	1,209,429.07	-5%	○	
内訳	電力	kWh	897,342.00	-5%	852,475	892,228.00	5%	×
	ガソリン	L	290,473.05	-5%	275,949	262,190.99	-5%	○
	軽油	L	90,006.56	-5%	85,506	67,415.56	-21%	○
	都市ガス	m <sup>3</sup>	292.00	-5%	277	230.00	-17%	○
廃棄物	一般廃棄物	kg	10,202.40	-3%	9,896	10,601.88	7%	×
排出量	産業廃棄物	kg	2,601.90	-3%	2,524	2,941.40	17%	×
水使用量	m <sup>3</sup>	4,665.00	-5%	4,432	5,103.00	15%	×	
化学物質使用量	kg	現状把握	適正管理・使用		0.00	—	—	
初心運転者事故者率（2022年度取得者）			県平均	1.00%	4校平均	0.69%	○	
お客様満足度（アンケート集計結果）			目標	96.9%	4校平均	97.4%	○	

## 2. 中期の環境目標

項目	単位	基準年度		削減率等					
		2018.4～	2019.3	2023年度		2024年度		2025年度	
		基準値		目標削減率	目標値	目標削減率	目標値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	1,335,737.91	-5%	1,268,951	-6%	1,255,594	-7%	1,242,236	
内訳	電力	kWh	897,342.00	-5%	852,475	-6%	843,501	-7%	834,528
	ガソリン	L	290,473.05	-5%	275,949	-6%	273,045	-7%	270,140
	軽油	L	90,006.56	-5%	85,506	-6%	84,606	-7%	83,706
	都市ガス	m <sup>3</sup>	292.00	-5%	277	-6%	274	-7%	272
廃棄物	一般廃棄物	kg	10,202.40	-3%	9,896	-4%	9,794	-5%	9,692
排出量	産業廃棄物	kg	2,601.90	-3%	2,524	-4%	2,498	-5%	2,472
水使用量	m <sup>3</sup>	4,665.00	-5%	4,432	-6%	4,385	-7%	4,338	
初心運転者事故者率			該当年度の県平均値を下回ること						
お客様満足度（アンケート集計結果）			直近3年間の平均値以下とすること						

### <備考>

- 2023年度からは電力供給会社を変更したため、基準値もあわせて排出係数を見直ししました。

### 3. 評価

- ・水使用量：日ごろから職員には節水の意識を持って行動してもらっていますが、合宿生の増加に伴い、水の使用量も増えてしまいました。お客様も含め、職員が節水意識を持続できるようポスター等を掲示していきたいと思います。
- ・一般廃棄物：合宿生の増加と共に一般廃棄物も増加してしまいました。
- ・産業廃棄物：まとめて廃棄している所属も多いため、年度によってかなりの差が出ることになってしまいました。

### 4. 次年度の環境経営目標                      変更なし

# V 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

学校法人 静岡自動車学園（法人全体）

（取組期間：2023年4月～2024年3月）専門学校部門＝専、教習部門＝教

環境活動項目		スケジュール	責任者	
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	① アイドリングストップの周知・徹底	通年	両部門長
		② 必要以上の積載を控える	通年	両部門長
		③ 急発進・急加速を控える等エコ・ドライブの推進	通年	両部門長
		④ 効率的な運行経路の選択	通年	両部門長
		⑤ ハイブリッド車・電気自動車の優先利用	通年	専門部長
		⑥ 自動車学校教習生へのエコ・ドライブの説明	通年	教部門長
	空調等	① エアコンの設定温度の順守	6～9月、12～3月	両部門長
		② 空調フィルターの定期的な清掃	5月、12月	両部門長
		③ クールビズ・ウォームビズの推奨・実施	通年	両部門長
		④ 部屋のドア・窓の開閉により室温を調整する	通年	両部門長
	学校・事務所	① 不要照明の消灯	通年	両部門長
		② 未使用設備の電源OFF	通年	両部門長
		③ 階段の積極的利用	通年	両部門長
廃棄物の削減	① コピー用紙の両面使用	通年	両部門長	
	② 使用済封筒の再利用	通年	両部門長	
	③ ミスコピー時の再利用	通年	両部門長	
	④ 雑誌等資源ゴミの仕分けの徹底、再資源	通年	両部門長	
	⑤ 簡易包装の積極的利用	通年	両部門長	
水使用量の削減	① 手洗い時等の節水	通年	両部門長	
	② 教習車洗車時の節水（バケツを利用する）	通年	教部門長	
	③ 水漏れ点検の実施	通年	両部門長	
物化学	① 化学物質の管理簿による適正管理	通年	専門部長	
環境に配慮した活動	① 敷地周辺のゴミ拾いを実施する	通年	両部門長	
	② 学生に対する環境教育の実施	通年	両部門長	
	③ 社内報に掲載しエコアクションの意識を高める	9月・12月	両部門長	
	④ 勤務時間（就業時間）の管理	通年	両部門長	
	⑤ 営業時間の効率化	通年	両部門長	
	⑥ 環境配慮型商品の優先的購入・使用の検討	通年	両部門長	
	⑦ 顧客満足度の向上等を図る（整備士合格率・初心運転者事故者率・お客様満足度）	通年	両部門長	

## 取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(取組期間：2023年4月～2024年3月)

専門学校部門＝専、教習部門＝教

環境活動項目		評価	コメント	今後(次年度)の取組内容	責任者	
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	① アイドリングストップの周知・徹底	○		継続実施	両部門長
		② 必要以上の積載を控える	○		継続実施	両部門長
		③ 急発進・急加速を控える等エコ・ドライブの推進	○		継続実施	両部門長
		④ 効率的な運行経路の選択	○		継続実施	両部門長
		⑤ ハイブリッド車・電気自動車の優先利用	○		継続実施	専門部長
		⑥ 自動車学校教習生へのエコ・ドライブの説明	○		継続実施	教部門長
	空調等	① エアコンの設定温度の順守	○		継続実施	両部門長
		② 空調フィルターの定期的な清掃	○		継続実施	両部門長
		③ クールビズ・ウォームビズの推奨・実施	○		継続実施	両部門長
		④ 部屋のドア・窓の開閉により室温を調整する	○		継続実施	両部門長
	学校・事務所	① 不要照明の消灯	○	急ぎの時などはエレベーターを利用する職員がい	継続実施	両部門長
		② 未使用設備の電源OFF	○		継続実施	両部門長
		③ 階段の積極的利用	△		継続実施	両部門長
廃棄物の削減	① コピー用紙の両面使用	△	業務の内容によってはコピーを両面できないこともあった。	継続実施	両部門長	
	② 使用済封筒の再利用	○		継続実施	両部門長	
	③ ミスコピー時の再利用	○		継続実施	両部門長	
	④ 雑誌等資源ゴミの仕分けの徹底、再資源	○		継続実施	両部門長	
	⑤ 簡易包装の積極的利用	○		継続実施	両部門長	
水使用量の削減	① 手洗い時等の節水	○		継続実施	両部門長	
	② 教習車洗車時の節水(バケツを利用する)	○		継続実施	教部門長	
	③ 水漏れ点検の実施	○		継続実施	両部門長	
物化学	① 化学物質の管理簿による適正管理	○		継続実施	専門部長	
環境に配慮した活動	① 敷地周辺のゴミ拾いを実施する	○	整備士合格率については目標を高く設定しているため、評価は△とした。	継続実施	両部門長	
	② 学生に対する環境教育の実施	○		継続実施	両部門長	
	③ 社内報に掲載しエコアクションの意識を高める	○		継続実施	両部門長	
	④ 勤務時間(就業時間)の管理	○		継続実施	両部門長	
	⑤ 営業時間の効率化	○		継続実施	両部門長	
	⑥ 環境配慮型商品の優先的購入・使用の検討	○		継続実施	両部門長	
	⑦ 顧客満足度の向上等を図る(整備士合格率・初心運転者事故者率・お客様満足度)	△		現状把握するため継続実施	両部門長	

<備考>

### 1. 評価判定

○：良くてきた △：まあまあできた ×：できなかった -：実施が見送られた

## VI 各部門独自の取り組み

### 専門学校部門

◆校内環境標語募集活動（2023年12月）

優秀作 「ちょっとだけ その行動が 地球を救う」



◆学生自治会による5S4R運動の推進

5S4Rの唱和实施（毎朝のショート・ホーム・ルーム時）



クラス委員による校内5S点検実施（隔週）

◆教室エアコンの温度管理・定期清掃

温度：夏季26～28℃、冬季20～22℃に設定



清掃：7月、12月、3月に実施

◆側溝清掃



B棟1階：毎月実施

B棟2階：7月、12月、3月に実施

C棟1階：7月、12月、3月に実施

◆校用車（乗用車）のエコ化及び電気自動車の積極利用



静岡市内の移動は「燃料電池自動車：トヨタ ミライ」を優先利用



トヨタ・ミライ

## 自動車学校 4 校（静岡校・浜松校・沼津校・松崎校）

### ◆ハイブリッド教習車の利用



ストップ&ゴーが多い教習において燃費・環境負荷を考慮し、AT 教習車は全車ハイブリッド車（トヨタプリウス）を使用

MT 教習車についても環境負荷の低い最新型車両に更新



トヨタプリウス教習車（AT 教習車）



トヨタカローラアクシオ教習車（MT 教習車）

### ◆送迎バスの効率的運用



教習生の予約時間を調整し、送迎バス運行距離及び回数を極力短くなるよう工夫

### ◆コース夜間照明の LED 化



静岡県自動車学校静岡校、浜松校、沼津校教習コースの夜間照明を LED 化



### ◆屋内照明の LED 化



校舎内全照明 LED 化（静岡校・浜松校・沼津校）

### ◆エアコンフィルターの定期清掃



年 2 回の頻度でエアコンフィルターの清掃と機能点検を実施

### ◆エアコンの温度管理



エアコンの設定温度を夏季 26～28℃、冬季 20～22℃に設定

### ◆パソコン等の使用ルールを設定



離席時の PC スリープ化、職員のエレベーター使用制限などのルールを設定

### ◆クールビズの実施

5月から10月までをノーネクタイ期間として実施



◆夏季室内温度の抑制



ロールカーテンや施設窓への遮光フィルム貼付けにより夏場の室内温度上昇を抑制

◆営業時間の効率化



需要に応じて季節的に営業時間を変動させ効率の良い施設稼働を心掛ける

夜間営業時間の短縮を図る

- ・4月～7月、10月～1月は始業時刻午前9時台、その他の時期のみ8時台
- ・過去は、夜間教習を21時台まで実施していたが現在は1時間短縮し20時台で終了

◆ゴミの分別・告知



ゴミの分別を徹底

教習生への告知のほか、ゴミ箱数削減によりゴミの削減につなげる



教習生への協力・意識付け



◆洗車用ホースへのノズル装着



無駄な放水を防ぐため水量調節可能なノズルを装着



◆Web 給与明細の導入

給与明細のペーパーレス化



◆静岡市シェアサイクル PALCLE 設置（静岡校）



# VII 環境関連法規等の遵守状況

適用となる主な環境関連法規等は次のとおりである。

(2024年3月31日現在)

法令等の名称	条項	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果
フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第16条	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)実施 圧縮機電動機定格出力に応じた資格者による「定期点検」 ②空調機(50kW以上)1年に1回以上 ③空調機(7.5kW~50kW未満)3年に1回以上 ④冷凍冷蔵機器(7.5kW以上)1年に1回以上	①各所属の管理者が確認 ②、③、④ 有資格者による定期点検実施	○
	第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務	○
悪臭防止法		規制地域内の向上・事業場の事業活動に伴って発生する悪臭について必要な規制を実施	特定悪臭物質:メチルイソブチルケトン 専門業者による濃度の測定実施	○
浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○
	第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	○
廃棄物処理法	第6条の2第6項	一般廃棄物は市町のルールに従った分別と搬出及び業者委託	業者委託時は許可証確認(契約書作成が望ましい)	○
	第12条第2項	廃棄物の悪臭・飛散・地下浸透防止	保管場所での環境被害防止	○
	第12条第5項	産業廃棄物運搬業者並びに処分業者との委託契約	契約書の締結及び保存	○
	第12条第9、10項	産業廃棄物多量排出事業者の処理計画及び実施状況報告	6月30日までに許可権者に報告(前年度発生量が千トン超のとき)	該当なし
	第12条の2第8項	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	有資格者を選任(特管排出事業者のみ)	該当なし
	第12条の3第1項	マニフェストの交付	A票(委託時、電子マニは3日以内)	○
	第12条の3第2、6項	マニフェストの保管	A票~E票:5年間	○
	第12条の3第6項	マニフェストの期間内返却の確認	B2及びD票:90日以内、E票:180日以内	○
	第12条の3第7項	産業廃棄物管理票交付等状況報告	6月30日までに許可権者に報告(電子マニは猶予)	○
第12条の3第8項	産業廃棄物管理票の期間内未返却時の市長への報告	返却期間終了後30日以内に市長に報告	該当なし	
振動規制法	第6条	特定施設の届出		該当なし
静岡市火災予防条例	第10条、30条	指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出等	指定数量の1/5以上指定数量未満であり、届出済 第1石油類:100L、第2石油類:400L	○
			エンジンオイルの保管 届出不要 指定数量1/5(1200L以下)	○
消防法	第14条	原則、1年に1回以上点検 報告書の保存期間は原則3年	地下貯蔵タンク漏洩法定点検の実施(1回/3年) 有資格者による定期点検の実施	○
騒音規制法 (静岡県生活環境の保全等に関する条例)	県条例50条施行規則23条別表8	騒音特定施設の届出	空気圧縮機 集塵機 冷凍機	○
下水道法(S33.4.24法律第79号)	第12条の3第3項	特定施設の届出	油水分離層を、水質汚濁防止法特定施設として届出済(H11.8.5第328号)	○
水質汚濁防止法施行令(S46.6.17政令188号)	第1条別表第1	特定施設の届出	水質汚濁防止法特定施設71の2相当(イ)洗浄施設	○

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、逸脱はなかった。

また、過去3年、違反や訴訟もなかった。

# VIII 代表者による全体の評価と見直し

作成 2024年6月14日

項目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
1・見直し 関連情報	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成しました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 都市ガス・一般廃棄物は未達
	3 環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載いたしました。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
	8 その他( )	<input type="checkbox"/>

2・代表者による 全体評価・見直し 指示	<p>コロナ禍もおさまり、生徒やお客様の数も増えてきたことから目標設定数値を達成するのは難しくなってくるが、改めて各自の役割や環境問題に対する意識を再確認し取り組みを行っていくよう指示した。また、PDCA定着のために各所属で環境活動の振り返りができるようなチェックシートの作成を行い、自発的に課題や問題の解決に向けた取組ができるよう仕組みを構築する。環境意識の底上げのためにも、引き続き職員教育を含めた研修や学園内のコミュニケーションの充実に重点を置いて活動をしていきたい。</p> <p style="text-align: right;"><b>学校法人静岡自動車学園</b> <b>理事長 平井 一史</b></p>		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2 環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3 環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4 環境に関する組織(実施体制含め)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	5 その他のシステム要素	<input checked="" type="radio"/> 有・無	環境活動や役割の振り返りができるようなチェックシートを作成すること
	6 その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	